



Road to 東京五輪 @ぎふ

岐阜の地に見る、今最もホットな五輪ニュース ♥

vol.06

今月の
お題

岐阜農林高校の「挑戦」を追う！

いよいよ来年7月に開催が迫る東京五輪。このページはそこに至るまでの「東京五輪×岐阜」なニュースをミラーにお届けする、期間限定・連載企画です★

高校生が挑む「コンテスト」とは?!

来年の東京2020に向けて、日本中が動き出している感のある今日この頃。その中の一つとして、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局が「GAP食材を使ったおもてなしコンテスト」なるものを発表しました。対象は全国の農業科のある高校・農業大学とホストタウン自治体等が連携したプロジェクトチーム。大会調達基準を満たした「GAP食材」を使って海外の選手等をもてなす企画を立て、その内容を競い合うというものです。

この度、我らが岐阜県からのコンテストへの参加を表明したのが岐阜農林高校。自ら手がけるグローバルGAPのお米【縁結び】とJGAPの果樹【柿・葡萄・梨】、岐阜が誇る世界農業遺産「清流長良川の鮎」を使った料理で、岐阜県がホストタウンとなっているカナダの選手をもてなすプランを打ち出しています。さらにユニークなのが「高校生による模擬神前結婚式で本物の日本体験を〜」という+αのアイデア。若者たちが懸命に考え、練習し、海外交流の第一線を担おうと頑張るその姿…。ぜひとも応援したいものです(詳しい応援方法は下記に続く…)。



気合い十分の岐阜農林高校・2年生の学生さんたち。自慢のお米【縁結び】と一緒に。

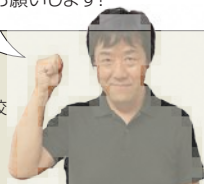


10月に行われた「模擬結婚式」の練習の様子。新郎新婦はもちろん、雅楽の演奏や巫女も岐阜農林高校流通科学科の学生が担当する(岐阜市内・岐阜護国神社にて)。



お料理については岐阜市の料亭・美乃巻さん、模擬挙式については岐阜護国神社さんの全面的なご協力を得て、自分たちでも「こんなに大きな話になるとは」とびっくりするようなプロジェクトに成長しています。他にも各所から多くのサポートをいただき、本当に感謝しかありません。学生たちも一人ひとりできることを精一杯頑張っていますので、なにとぞ応援をお願いします!

岐阜県立
岐阜農林高等学校
流通科学科
松尾 正 先生



みんなで応援しよう!

GAP食材を使ったおもてなしコンテスト

岐阜農林高校チーム

『ニッポンで体験!「カルチャーツーリズム」～神前結婚式のおもてなし～』

コンテストの順位を決めるのは、11月末から応募作品が公開される下記サイトからの投票結果(投票できるのは12月中旬～1月中旬)。つまり、私たちが投じる1票が岐阜農林高校の順位を左右するワケです。ぜひ一度こちらを覗いてみて下さい★

⇒ <https://gap.onsen-ouen.jp/>

